

2010年

4月9日
金曜日

日刊工業新聞

●購読のお申し込みは
フリーダイヤル
(東京) 0120-412346
(大阪) 0120-597117
(名古屋) 0120-462346
(福岡) 0120-817120

(第3種郵便物認可)



環境配慮の配達サービス

EV・電動アシスト自転車導入

フリーラン(東京都港区、平原二義社長、03・3479・5701)は電気自動車(EV)による配達サービス「エコぶ!!」を始めた。まず東京都内の港、千代田、中央、新宿、渋谷の5区でビジネス便「エコブ東京ファイブ」を開始。料金は5時間便500円と抑え、二酸化炭素を

排出しない環境配慮のサービスとして浸透を狙う。

まず1人乗りEV(写真)3台、アシスト自転車15台で運営する。「1人乗りEVは車検不要で普通運転免許で最高時速60キロで走れるというバイクと軽自動車の中の乗り物。ラッピング宣伝カーとしても活用したい」(鈴木聡取締役社長室長)考え。当初は従来のバイク便な

都内5区でビジネス便フリーラン

どと併用し、反響をみて電動スクーターや電動アシスト自転車の導入も検討する。5月には東京23区を対象にエコぶ!!の1人乗りEVなどを使った24時間営業サービス「忍者ーサンニヨン」を始める。料金は6時間便600円。騒音が少ない点などを活用し、ネット通販や在宅勤務など個人向け需要を開拓する。